

事業所名

いっといっぽ下落合教室

いっと支援プログラム

作成日

2024年

12月

1日

法人（事業所）理念	みんなで描こう未来の架け橋 みんながいきいきいっとな生活						
支援方針	障害をもつ方だけでなく家族や支援者への支援を行い、行政との連携だけでなく、地域の活動等にも積極的に取り組み、地域の中で皆が彩り豊かに暮らせる社会を法人として実現していくことを目指します。						
営業時間	10時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり なし	
	支 援 内 容						
種別	児童発達支援			放課後等デイサービス			
クラス (1クラス60分)	<ul style="list-style-type: none"> ■個別支援クラス：マンツーマン支援。週1日利用。 ■小集団支援クラス：3～5歳児の4～6名の小集団活動。 			<ul style="list-style-type: none"> ■個別支援クラス：マンツーマン支援。主に月2回利用。 ■小集団支援クラス：4～6名の小集団活動。 ■余暇支援クラス：鉄道や歴史等の興味関心に合わせた活動。 			
本人支援 5領域+1	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に合わせた日常生活動作（ADL）の獲得を目指す。 ・自らの気持ち等を伝えられるように、絵カード等を用いて意思表示できるようにする。 ・構造化された空間を整え(or空間の中で)、取り組むべきことを理解し自ら動けるようになっていく。 			<ul style="list-style-type: none"> ・自らの特性に応じた生活スタイルを自己決定して行けるよう支援する。 ・自らに合ったストレスマネジメントができるようにしていく。 ・ライフステージに応じて必要な生活スキルが身に付くように支援する。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に合わせた手段的日常生活動作（IADL）の獲得を目指す。 ・粗大運動や微細運動、協応動作等に取り組み、身体の動かし方を身につけていく。 ・自分にとって使いやすい道具を見つけ、使い方を身につけていく。 			<ul style="list-style-type: none"> ・自らの感覚特性を理解し、自分に合った生活スタイルを獲得していく。 ・自分にとって使用しやすい道具の使い方を身につけていく。 ・皆と同じような手段・道具でなくても、使用しやすいものを認めてもらえるようにする。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に合わせて認知発達を促していく（太田ステージに基づく認知発達の支援）。 ・標準化された検査等に基づき認知特性を把握し、特性に合わせた学びを保障する。 ・行動の背景を推測しながら、不適応行動を予防していく。 			<ul style="list-style-type: none"> ・自らの認知特性を把握していき、自分に合った学び方を身につけていく。 ・できるところに目を向けながら、自分に取り組めるような術を身につけていく。 ・認知特性に応じた配慮を申し出られるようにしていく。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に合わせたコミュニケーション手段の獲得を目指す。 ・興味関心事を通じた双方向のコミュニケーションの獲得を目指す。 ・興味関心に合わせて文字の読み書きを支援していく。 			<ul style="list-style-type: none"> ・自分が認められるような環境を見つけていき、双方向的なコミュニケーションを楽しんで取り組めるようにする。 ・ICT機器を活用する等、自分に合った読み書きの機会を保障していく。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ポジティブ・ネガティブな気持ちを共有し、自らの気持ちが実感できるようにする。 ・安心安全な人・場所を提供し、物事に取り組む意欲を育てるようにする。 ・他者と物事を共有できるような関わりをしていき、社会性を育てていく。 			<ul style="list-style-type: none"> ・自らのことを認めてもらえる場所で願いやニーズが実現していくための相談をしていく。 ・手助けが必要な時に援助要請ができるようにしていく。 ・同じような興味関心がある仲間を見つけていき、社会性を身につけていく。 		
	余暇・遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の興味関心事を用いて、物事へ取り組む姿勢を身につけていく。 ・遊びを発展させながら、自らがポジティブな気持ちになれる時を保障していく。 ・本人の選好性を周囲の人が認められるように支援する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・自分の選好性に合った仲間づくりを支援していく。 ・余暇を充実させることで、日々の生活をイキイキと過ごせるように支援する。 ・人とのつながりの大切さを実感できるようにしていく。 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回以上の面談機会を設け、日常生活に活かせるような発達支援の方向性を家族と共有していく。 ・発達支援場面を見学してもらいながら、関わり方のアドバイスをしていく。 ・習い事等を含めて、生活全般をコーディネートできるような必要な情報提供をしていく。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・所属先の園や学校等と連携し、利用児の生活状況を把握していく。個別支援計画書等を共有し、それぞれの機関での役割を明確にしながら発達支援に取り組んでいく。 ・障害福祉サービスだけでなく、公的機関・医療機関等と連携し、生活全体をコーディネートしていく。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の関係機関との連携や情報共有 ・こども家庭支援センターや教育センター、発達支援センター等公的機関との連携と情報共有 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ■研修：支援研修、専門的支援研修、虐待防止研修等 年2回以上実施 ■その他：防災・安全・衛生等訓練（月1回）、教材研究（年8回）、外部研修受講費用補助あり 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ■行事：4月～5月 読書月間 6月 歯の健康週間 7月 七夕週間 8月 夏祭り週間 9月 防災週間 10月 ハロウィン習慣 11月 レコード週間 12月 クリスマス週間 1月～2月 節分週間 3月 お楽しみ週間 ■保護者懇談会 年1回実施（グループクラスの方対象） ■保護者学習会 テーマを決めて年1回以上実施 						